

ゆく年の一年を振り返る、
ながれてゆく「こよみのよぶね」をながめながら。

くる年の一年に想いを馳せる、
ながれてくる「こよみのよぶね」をながめながら。

こよみのよぶね スケジュール

- 【冬至迎え】 16時～17時30分ごろ 鵜飼観覧船のりば
刻々と変わる黄昏の空の色を背景にして、いろいろな色の和紙で彩られた1から12の数字行燈に明りがひとつずつ灯ります。12個の数字行燈を載せた12隻の屋形船が岸边で冬至の長い夜を迎えます。(船を間近で見るとは一番いい)
- 【出船】 17時30分ごろ 鵜飼観覧船のりば岸
船頭さんが船に乗り込み、干支船が先頭で、1月船から順番に2月船、3月船と一隻ずつ、川岸から船出していきます。(動き出す始まりを感じるには一番いい)
- 【顔見せ】 18時ごろ 長良橋付近 右岸プロムナード
「こよみのよぶね」が長良橋をくぐり、下流から上って来ます。(長良橋から見ると数字行燈が次々と進んでいくのがよく見えます)
- 【お山下楽屋】 18時30分ごろ お山下川原
12隻がお山下の川原で、時を待ちます。
- 【時の流れ】 19時～20時 長良川右岸プロムナード
太鼓の音と併に1月船から順番に上流から「こよみのよぶね」がながれてきます。「すぎ山」前の川岸に1隻ずつ接岸し、巫女により「こよみつけ」引き渡しの式が行われます。その後にはすべての月舟が金華山を背景にして川面に1列に並び、総がらみで締めくくります。(川面に映るこよみのよぶね・屏風が如く金華山・天に輝く岐阜城が織りなす風景は、一年でこの日この時にしか出会えません、必見です)
- 【お見送り】 20時過ぎごろ
時がながれて行きます。10月船のあとに、11月船、そのあとに12月船、こうして今年の時が過ぎていきます。そして今年の干支である卯(うさぎ)を乗せた干支船も役割を終えて、長良橋の下へとながれて行きます。今年を振り返りつつ、来年へとつながる時を告げます。
- 【楽日初日】 20時30分～21時ごろ 鵜飼観覧船のりば
終わりは始まりのしるしです。ながれついた数字行燈を岸にあげて、解体し次の姿へと繋げます。骨組みの竹から和紙を剥がします。この作業は当日見に来た方々も参加できます。願い事を竹からはがした数字行燈の和紙を持って帰って、そこに願い事を書くと、その数字行燈の月にかなうとか…。「こよみのよぶね」の想い出にどうぞお持ち帰りください。竹は、束ねて左義長袋に納めます。終了後に「こよみのよぶね」で使用した和紙をプレゼントします。



各地でワークショップを開催しました！

中津川市
郡上市八幡町
一宮市木曾川町
ハートフルスクエアG
ドリームシアター岐阜
やなごせ倉庫
まるごと環境フェア



特別制作
宮城県石巻市
特別協力
石巻市社会福祉協議会
仮設開成回地のみなさま
栗の里中津川
カヌートレック 四万十塾



ワークショップ参加者を募集しています！

ワークショップ参加者を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.dnaand.org/>

こよみのよぶね

JR岐阜駅・名鉄岐阜駅からのアクセス

- ▶バス：長良橋を経由する岐阜バス【10番・11番・12番のりば】にて約15分、「長良橋」で下車してください。大人200円、子供100円。
- ▶タクシー：JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から、約15分。約1,500円。

お問い合わせ先

こよみのよぶね実行委員会事務局 TEL: 058-294-7671 【12/22 本番当日のお問い合わせは、090-1568-9796(加納)まで】